



2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月8日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3202 URL <https://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長執行役員CEO (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 理事経営管理本部経理部長 (氏名) 松田 好司

TEL 03-6262-6565

定時株主総会開催予定日 2026年6月23日

配当支払開始予定日

2026年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	4,012	2.3	310	1.6	116	4.9	90	65.2
2025年3月期	4,106	1.8	315	1.1	121	12.7	54	64.2

(注) 包括利益 2026年3月期 177百万円 (130.8%) 2025年3月期 76百万円 (55.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	3.03	3.03	1.9	0.6	7.7
2025年3月期	1.83	1.83	1.1	0.6	7.7

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 0百万円 2025年3月期 0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	20,075	5,003	24.9	166.80
2025年3月期	20,036	4,924	24.5	163.80

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,999百万円 2025年3月期 4,918百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	725	125	356	1,193
2025年3月期	480	137	481	949

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		0.00		3.00	3.00	90	164.0	1.8
2026年3月期		0.00		3.00	3.00	90	99.0	1.8
2027年3月期(予想)		0.00		3.00	3.00		74.9	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	14.6	160	20.7	50	37.7	30	5.7	1.00
通期	4,700	17.1	400	28.8	190	63.8	120	32.1	4.00

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	30,360,000 株	2025年3月期	30,360,000 株
期末自己株式数	2026年3月期	387,839 株	2025年3月期	333,713 株
期中平均株式数	2026年3月期	29,962,776 株	2025年3月期	30,039,387 株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	3,381	3.2	265	12.2	97	17.4	86	55.3
2025年3月期	3,495	1.8	302	9.6	118	22.6	55	70.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	2.90	2.89
2025年3月期	1.86	1.86

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	19,736	5,119	25.9	170.46
2025年3月期	19,701	5,043	25.6	167.59

(参考) 自己資本 2026年3月期 5,115百万円 2025年3月期 5,038百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	17
(重要な後発事象の注記)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期（2025年4月～2026年3月）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要やサービス消費の持ち直し等を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、消費者物価の緩やかな上昇に加え、年明け以降の中東情勢の影響もあり、物価上昇圧力が継続し節約志向が高まる等一部で消費者マインドの動きの弱さが見られる展開となりました。

このような中で、当社グループは2年目となる中期経営計画「Jumping over the 130th ～成長の未来へ～」に基づく諸施策の実現に向けて鋭意取り組みました。

商業施設事業におきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、市況が底堅く推移しており、特に、邦画のヒット作に恵まれたことが施設全体の業績伸長に寄与し、設備更新投資による償却負担増をこなし、業績は順調に推移しました。ヘルスケア事業におきましては、健康長寿へのニーズの高まりから市況は底堅く推移しており、製造部門の効率化に効果が始まったものの、資材調達コスト増や、調達の遅れ等で健康部門が伸び悩む中、新規活動も芳しくなかったことなどが響き、売上高が前年割れになる等苦戦しました。せんい事業におきましては、我が国の防衛産業の一端を担う官需ユニフォームの動きが堅調に推移したものの、アパレル関係で冬物衣料の一部受注を逃したことや民需ユニフォームの動きが低調でした。

なお、第3四半期末に流動負債として計上していた借入金38億73百万円については、当期中に超長期（約18年）の借入金に借り換え実行済みであります。

この結果、当期の業績は、売上高は40億12百万円（前期比2.3%減）で、営業利益は3億10百万円（前期比1.6%減）、支払利息などを加味した経常利益は1億16百万円（前期比4.9%減）となりました。これに、法人税等調整額を加味した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は90百万円（前期比65.2%増）と、前期比減収増益の黒字決算になりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、底堅い市況を背景に、邦画のヒット作に恵まれたこともあり、売上高は前期を上回りました。営業利益は、設備更新投資に伴う減価償却費の増加がありましたものの、前期を上回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は23億4百万円（前期比3.8%増）、損益面では、償却負担の増加をこなし、営業利益は9億54百万円（前期比6.4%増）の増収増益となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、底堅いニーズはあるものの、資材の調達遅れのほか長引く猛暑の影響も受け全般に低調で、売上高は前期を下回りました。一般寝装品部門につきましては、夏場に冬物を早く仕入れる動きがあり一時盛り返したものの、その反動もあり秋冬シーズンが伸び悩んだ結果、売上高は前期を下回りました。損益面では、仕入れコストの上昇や売上高の減収に加え、長期在庫の評価減11百万円とのれん償却費14百万円の計上もあり、損失幅は前期比悪化しました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は10億52百万円（前期比8.6%減）で、営業損失は29百万円（前期は営業損失13百万円）となりました。

(せんい事業)

テキスタイル部門につきましては、官需ユニフォームが引き続き堅調であったものの、納期の後ろ倒しなどの影響があり、売上高は前期を下回りました。プロダクツ部門につきましては、新規案件の受注などはあったものの大口先の取りこぼしなど既存先が振るわず、売上高は前期を下回りました。損益面では、テキスタイル部門で人員増強による労務費アップおよび一部資材コストが上昇したため、営業利益は前期を下回りました。

この結果、せんい事業の売上高は6億55百万円（前期比10.9%減）となり、営業利益は21百万円（前期比40.1%減）と減収減益ながら黒字は確保しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債、純資産の状況)

当期末における総資産の残高は200億75百万円で、前期末比38百万円増加しました。その主な要因は、流動資産において、現金及び預金が2億43百万円増加、売掛債権の回収により受取手形及び売掛金が45百万円減少、棚卸資産が1億56百万円減少したこと、固定資産において、リース資産の取得等により有形及び無形固定資産が3億78百万円増加、減価償却費計上5億14百万円などにより有形及び無形固定資産が1億35百万円減少、保有株式の株価上昇により投資有価証券が1億51百万円増加したことであります。

負債の残高は150億71百万円で、前期末比40百万円減少しました。その主な要因は、仕入債務の支払により支払手形及び買掛金が1億27百万円減少したこと、リース資産の取得によりリース債務が2億32百万円増加したこと、新規借入4億円及び約定弁済6億54百万円により借入金が2億11百万円減少したこと、保有株式の株価上昇等により繰延税金負債が42百万円増加したことであります。なお、第3四半期末に流動負債として計上していた借入金38億73百万円については、超長期(約18年)の借入金に借り換え実行済みであります。

純資産の残高は50億3百万円で、前期末に比べ79百万円増加しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益計上、市場買い付けによる自己株式の増加及び配当金支払などにより株主資本が5百万円減少したこと、保有株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が97百万円増加したこと、金利スワップの時価評価により繰延ヘッジ損益が11百万円減少したことであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億25百万円のプラス(前期比50.9%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1億16百万円、減価償却費5億14百万円、棚卸資産の減少1億56百万円、仕入債務の減少1億27百万円およびその他の負債の増加60百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億25百万円のマイナス(前期は1億37百万円のマイナス)となりました。これは、商業施設事業の設備投資を主因とした当期の支出1億25百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億56百万円のマイナス(前期は4億81百万円のマイナス)となりました。これは主に、長期借入れによる収入4億円、長期借入金やリース債務返済による支出6億54百万円、配当金の支払額89百万円、自己株式の増加10百万円などによるものであります。

これらの各活動の結果、現金及び現金同等物の残高は11億93百万円(前期比25.7%増)となりました。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	23.4	24.2	24.5	24.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	12.4	14.0	15.3	19.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	14.3	13.4	20.4	13.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1.3	3.3	2.3	3.4

自己資本比率 : $\text{自己資本} \div \text{総資産}$

時価ベースの自己資本比率 : $\text{株式時価総額} \div \text{総資産}$

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : $\text{有利子負債} \div \text{キャッシュ・フロー}$

インタレスト・カバレッジ・レシオ : $\text{キャッシュ・フロー} \div \text{利払い}$

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

わが国経済は、不透明な中東情勢を主因に、原油高を背景としたさらなる物価上昇や金利上昇が懸念される状況に注意を要する展開が見込まれますものの、雇用・所得環境の改善や政府による物価対策等が期待され、引き続き緩やかな回復が見込まれます。

このような中で、当社グループは、中期経営計画「Jumping over the 130th ～成長の未来へ～」の最終年度を迎え、計画完遂に向けて諸施策を鋭意実現していく考えです。

次期におきましては、商業施設事業では、設備更新投資を順次実施していることによる償却負担増や邦画のヒット作の反動減が見込まれるものの、堅調な市況に支えられ売上高は増収を見込みます。また、ヘルスケア事業におきましては、健康長寿社会に対する底堅いニーズを下支えとして、猛暑・暖冬の影響が一般寝具部門の足を引っ張ることが予想されるものの、健康ビジネス部門の業績回復を期待して増収を見込みます。せんい事業におきましては、防衛産業の一端を担う官需ユニフォーム事業が引き続き順調に推移する見込みであることを主因に増収を見込み、連結売上高は増加する見込みであります。一方、原油高が仕入れコスト増に影響を与え、金利上昇も見込まれるものの、長期保有株式の売却を予定しており、損益面では前期を上回る見通しであります。

以上の結果、次期の見通しは、売上高は47億円(当期比17.1%増)、営業利益4億円(当期比28.8%増)、経常利益1億90百万円(当期比63.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1億200万円(当期比32.1%増)を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、外部動向等を踏まえながら、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	959,664	1,203,366
受取手形	146,285	124,270
売掛金	426,581	402,773
棚卸資産	820,792	664,582
その他	51,380	67,873
貸倒引当金	△1,290	△1,050
流動資産合計	2,403,413	2,461,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	7,387,514	7,050,240
土地	9,267,467	9,267,467
リース資産 (純額)	239,753	451,147
その他 (純額)	61,475	68,659
有形固定資産合計	16,956,210	16,837,515
無形固定資産		
のれん	113,664	99,256
その他	6,406	3,842
無形固定資産合計	120,071	103,099
投資その他の資産		
投資有価証券	443,136	594,416
破産更生債権等	83,256	—
繰延税金資産	1,914	2,127
その他	108,965	76,364
貸倒引当金	△80,228	—
投資その他の資産合計	557,043	672,907
固定資産合計	17,633,325	17,613,522
資産合計	20,036,739	20,075,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	351,682	224,188
短期借入金	581,328	641,320
未払法人税等	3,069	28,810
賞与引当金	39,953	38,621
株主優待引当金	46,500	53,300
その他	700,663	735,006
流動負債合計	1,723,196	1,721,245
固定負債		
長期借入金	8,967,610	8,696,294
リース債務	225,722	453,100
長期預り保証金	1,255,809	1,222,128
繰延税金負債	19,154	61,999
再評価に係る繰延税金負債	2,536,636	2,536,636
退職給付に係る負債	313,580	305,149
資産除去債務	71,022	75,367
固定負債合計	13,389,534	13,350,677
負債合計	15,112,730	15,071,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	30,466	29,916
利益剰余金	132,531	133,150
自己株式	△33,002	△38,704
株主資本合計	229,996	224,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,022	165,592
繰延ヘッジ損益	15,712	4,607
土地再評価差額金	4,604,723	4,604,723
その他の包括利益累計額合計	4,688,458	4,774,923
新株予約権	5,554	4,129
純資産合計	4,924,009	5,003,416
負債純資産合計	20,036,739	20,075,339

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	4,106,822	4,012,247
売上原価	2,797,449	2,685,032
売上総利益	1,309,373	1,327,214
販売費及び一般管理費	993,948	1,016,751
営業利益	315,424	310,462
営業外収益		
受取利息	17	119
受取配当金	9,829	17,459
持分法による投資利益	601	172
違約金収入	697	—
固定資産売却益	392	—
その他	3,232	4,112
営業外収益合計	14,771	21,864
営業外費用		
支払利息	205,160	209,766
シンジケートローン手数料	2,666	2,000
その他	439	4,548
営業外費用合計	208,266	216,314
経常利益	121,929	116,012
税金等調整前当期純利益	121,929	116,012
法人税、住民税及び事業税	657	30,015
法人税等調整額	66,319	△4,811
法人税等合計	66,976	25,204
当期純利益	54,952	90,807
親会社株主に帰属する当期純利益	54,952	90,807

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	54,952	90,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,197	97,570
繰延ヘッジ損益	64,804	△11,104
土地再評価差額金	△60,140	—
その他の包括利益合計	21,861	86,465
包括利益	76,814	177,273
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	76,814	177,273
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	30,979	138,161	△9,791	259,349
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			54,952		54,952
新株の発行 (新株予約 権の行使)					—
剰余金の配当			△60,582		△60,582
自己株式の取得				△30,593	△30,593
自己株式の処分		△512		7,382	6,870
減資					—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△512	△5,629	△23,211	△29,353
当期末残高	100,000	30,466	132,531	△33,002	229,996

	その他の包括利益累計額					新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	50,825	△49,092	4,664,864	—	4,666,596	9,171	4,935,117
当期変動額							
親会社株主に帰属する 当期純利益							54,952
新株の発行 (新株予約 権の行使)							—
剰余金の配当							△60,582
自己株式の取得							△30,593
自己株式の処分							6,870
減資							—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	17,197	64,804	△60,140	—	21,861	△3,616	18,244
当期変動額合計	17,197	64,804	△60,140	—	21,861	△3,616	△11,108
当期末残高	68,022	15,712	4,604,723	—	4,688,458	5,554	4,924,009

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	30,466	132,531	△33,002	229,996
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			90,807		90,807
新株の発行 (新株予約 権の行使)					—
剰余金の配当			△90,189		△90,189
自己株式の取得				△10,437	△10,437
自己株式の処分		△550		4,736	4,186
減資					—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△550	618	△5,701	△5,632
当期末残高	100,000	29,916	133,150	△38,704	224,363

	その他の包括利益累計額					新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	68,022	15,712	4,604,723	—	4,688,458	5,554	4,924,009
当期変動額							
親会社株主に帰属する 当期純利益							90,807
新株の発行 (新株予約 権の行使)							—
剰余金の配当							△90,189
自己株式の取得							△10,437
自己株式の処分							4,186
減資							—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	97,570	△11,104			86,465	△1,425	85,040
当期変動額合計	97,570	△11,104	—	—	86,465	△1,425	79,407
当期末残高	165,592	4,607	4,604,723	—	4,774,923	4,129	5,003,416

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	121,929	116,012
減価償却費	493,008	514,633
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△90	△80,468
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,009	△1,332
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	17,500	6,800
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	27,668	△8,430
受取利息及び受取配当金	△9,847	△17,578
支払利息	205,160	209,766
持分法による投資損益 (△は益)	△601	△172
固定資産売却損益 (△は益)	△392	—
売上債権の増減額 (△は増加)	43,239	41,391
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△54,090	156,209
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	—	80,228
仕入債務の増減額 (△は減少)	△107,304	△127,494
預り保証金の増減額 (△は減少)	△70,140	△33,680
その他の資産の増減額 (△は増加)	△51,109	△23
その他の負債の増減額 (△は減少)	61,556	60,034
その他	4,927	7,679
小計	683,422	923,574
利息及び配当金の受取額	9,847	17,578
利息の支払額	△211,313	△211,004
法人税等の支払額	△1,011	△4,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	480,945	725,874
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△137,872	△125,720
固定資産の売却による収入	393	—
その他	△0	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137,479	△125,730
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△569,701	△611,324
リース債務の返済による支出	△19,434	△43,444
自己株式の増減額 (△は増加)	△23,211	△10,437
配当金の支払額	△59,721	△89,229
その他	△9,489	△2,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	△481,558	△356,452
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△138,092	243,692
現金及び現金同等物の期首残高	1,087,570	949,478
現金及び現金同等物の期末残高	949,478	1,193,170

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものである。

当社グループは、当社に商業施設事業本部、ヘルスケア事業本部、せんい事業本部及び経営管理本部を置き、各本部は連結子会社との密接な協力関係のもとに国内及び海外販売の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開している。

したがって、当社グループは、当社各本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「商業施設事業」、「ヘルスケア事業」及び「せんい事業」の3つを報告セグメントとしている。

「商業施設事業」は、商業施設の運営・管理及び不動産賃貸を行っている。「ヘルスケア事業」は、寝装品等の製造・販売を行っている。「せんい事業」は、衣料品・ユニフォーム等の製造・販売を行っている。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一である。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値である。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいている。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	商業施設 事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	320,018	1,151,427	735,299	2,206,744	—	2,206,744
その他の収益(注) 3	1,900,078	—	—	1,900,078	—	1,900,078
外部顧客への売上高	2,220,096	1,151,427	735,299	4,106,822	—	4,106,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	456	—	101	557	△557	—
計	2,220,552	1,151,427	735,400	4,107,379	△557	4,106,822
セグメント利益又は損失(△)	897,582	△13,146	36,371	920,806	△605,382	315,424
セグメント資産	17,235,512	846,175	647,076	18,728,763	1,307,975	20,036,739
その他の項目						
減価償却費	466,047	15,115	—	481,162	11,846	493,008
持分法投資利益又は損失(△)	—	—	601	601	—	601
持分法適用会社への投資額	—	—	85,481	85,481	—	85,481
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	262,025	1,262	—	263,287	7,904	271,191

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	商業施設 事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	339,095	1,052,377	655,255	2,046,728	—	2,046,728
その他の収益 (注) 3	1,965,518	—	—	1,965,518	—	1,965,518
外部顧客への売上高	2,304,614	1,052,377	655,255	4,012,247	—	4,012,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	456	—	—	456	△456	—
計	2,305,070	1,052,377	655,255	4,012,703	△456	4,012,247
セグメント利益又は損失 (△)	954,904	△29,420	21,776	947,260	△636,797	310,462
セグメント資産	17,175,872	895,882	531,831	18,603,586	1,471,752	20,075,339
その他の項目						
減価償却費	491,977	15,070	—	507,047	7,585	514,633
持分法投資利益又は損失 (△)	—	—	172	172	—	172
持分法適用会社への投資額	—	—	86,653	86,653	—	86,653
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	386,856	1,087	—	387,944	—	387,944

(注) 1 調整額の内容は以下のとおりである。

(単位：千円)

セグメント利益又は損失 (△)	前連結会計年度	当連結会計年度
全社費用※	△605,382	△636,797

※全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

(単位：千円)

セグメント資産	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産※	1,307,975	1,471,752

※全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金である。

(単位：千円)

その他の項目	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	11,846	7,585
有形固定資産及び無形固定資産の増加額※	7,904	—

※有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、管理部門の設備投資額によるものである。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っている。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃料収入等である。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略している。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略している。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略している。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものはない。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略している。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略している。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略している。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものはない。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項なし。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項なし。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	商業施設事業	ヘルスケア事業	せんい事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	14,408	—	—	14,408
当期末残高	—	113,664	—	—	113,664

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	商業施設事業	ヘルスケア事業	せんい事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	14,408	—	—	14,408
当期末残高	—	99,256	—	—	99,256

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項なし。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	163.80円	166.80円
1株当たり当期純利益金額	1.83円	3.03円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	1.83円	3.03円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	54,952	90,807
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	54,952	90,807
普通株式の期中平均株式数 (株)	30,039,387	29,962,776
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	63,067	48,555
(うち新株予約権 (株))	(63,067)	(48,555)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。